

— 東京理科大学 —

2月5日 B方式 英語

解答・解説

1

(1) 6 (2) buried for 1,700 years (3) (あ) 2 (い) 3 (う) 3 (え) 2 (お) 4

(1) (C) およそ 2,000 年前の紀元前 79 年、都市ポンペイの様子が書かれている。

(B) その年の 8 月 24 日朝、自身が起きたとある。

(A) (B)の後同日昼の様子が書かれている。

(2) 下線部(ア)を含む文の前の文を参照。重複する箇所が省略されている。

(3) アクセントの箇所は次の通り。

(あ) appear 2 earring (い) disastrous 3 dissatisfy (う) merchant 3 surface

(え) peasant 2 enemy (お) volcano 4 tailor

2

(1) どのようなことか?→我々は真実を発見するのではなく作り上げるのだという立場。

筆者の意見→明らかに間違っている。

(2) 3 (3) 2 (4) 4 (5) 2 (6) 1 (7) 2 (8) 3 (9) 3 (10) 4 (11) 1

(1) どのようなことか?→段落⑤下線部(A)の直後の **that** が導く節が、その内容に該当する。

筆者の意見→段落⑥第2文参照。その根拠は続く同段落最終文に。

(2) 段落①第5文 **Why is there something rather than nothing?** 直訳は「なぜ何もないではなく、何かがあるのか?」なぜ「無」ではなく、「何かが存在する」のか、その理由、根拠を問う問題。解答することが困難な究極の問い。

(3) 段落②第2文参照。

(4) **confirm** が「〈人・事・物が〉〈陳述・証拠など〉を(本当だと)示す、確認する、...であると裏付ける」という意味の他動詞であることを知っていれば判断できるはず。

(5) 下線部(ウ)の次の文を参照。**champion** 他動詞「〈主義など〉を擁護する」

(6) 選択肢1→主節(前半)は特に問題なさそう。**because** 以下「事実上すべてのものを予測するので」とは本文段落③2文目 **but** 以下、「理論が、事実上すべてのことを予測できる—それゆえ何も予測できないくらい、多くの形で存在する」という箇所と合致。本文で **hence** 「つまりは何も予測できない」と否定的に書かれているのがポイント。

(7) 段落④第4文参照。

(8) **impasse** 「袋小路、行き詰まり」=**dean end** 「行き止まり」

(9) **by far** 最上級の前に置かれ、差が甚だしいことを表している。

(10) 段落⑤最終文参照。

(11) **essentially** 「本質的に」

3

ア 3 イ 1 ウ 4 エ 6 オ 7 カ 5 キ 2

ア Pardon? (=I beg your pardon.) 「何ですって？」 ※相手の言葉を聞きもらした時の言い方

イ Can I hear it? 「それを聴くことができますか？」 に対して、Alex が自身の demo CD を提示。

ウ Alex が Laura に対して、住所を尋ねるのを自制する…といったニュアンスの表現が入る。

エ Why don't you…? 提案を示す表現。

オ 感謝の意を表している。a bunch は「多量[の物・事]、多数[の物・事・人]の意味の名詞だが、この場合は、副詞的に thanks を修飾している。

4 左から(1)→(7)の順に記載

1. 8→1→2→6→4→3→5→7 2. 4→1→5→7→3→2→6 3. 1→8→4→5→3→2→7→6

4. 6→5→3→7→2→1→4 5. 6→4、5→3→1→7、8、2

1. S cause O to 不定詞 cause の第 5 文型「S(人・事)が O(人・事)に…させる」 what が主語。

2. stop O from ~ing 「O(人など)が～するのを妨げる」文直訳は「何も我々がそれをするのを妨げることはいできない！」

3. worth ~ing 「～する価値がある」

4. 文全体の SV は I wonder ~ その O となる that 節(that 自体は省略されている)が仮定法過去完了。

5. the 比較級~, the 比較級… 「～すればするほど、ますます…」

総評

1 文整序問題を軸にした読解問題

(1)文整序自体は易しい問題。落ち着いて確実に正解したい。また(2)も構文学習で、そのまま省略の例文に使われそうな題材。過不足なく抜き出したい。(3)はアクセントの「位置」ではなく、最も強く読む箇所「母音が同じもの」を選ぶという問題。センター試験の形式に慣れ過ぎてしまうと、私立大独特のこういった問われ方をきちんと把握せずミスにつながりそう。気をつけましょう。

2 読解総合問題

昨日の基礎工学部の問題と比べると、内容がかなり難しくなっています。ただそれがそのまま設問の難しさにつながっているかというところでもなく、70～80%の問題は培った知識を用いて、あるいは下線部付近を集中的に熟読することで正解を導けそうです。(1)の記述を要する問題は、普段こういったものに触れて練習しているか否かで、随分差が出そうです。

3 会話文挿入問題

これも昨日の基礎工学部の問題と比べると、かなりやりづらいものになっています。ただ選択肢は余ることなくすべてどこかには当てはまるので、選択肢4のような意味が分かりにくい選択肢は、後に残して他の埋めやすいものから処理していくことが肝要です。

4 整序英作文

標準的なレベルの問題。4つの大問の中ではこれが最もやりやすかったのでは！？

～全体を通して～

昨日の基礎工学部の問題に比べると、難易度は高いです。しかしながらそういった全般的な「印象」に負けずに、「取れるところでしっかり取る」ということが実践できれば、70%くらいの正答率は見込めるはず。大問2・3に十分な時間をかけられるように、配慮することがポイントかと思われます。